

# あべともこニュース

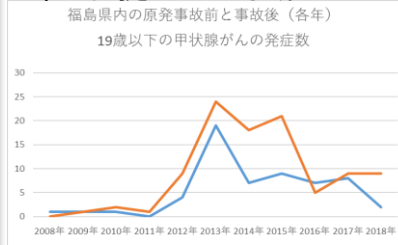
号外  
**立憲民主**  
RIKKEN MINSHU

## 環境・気候に配慮した、グリーンな政策の実現を

◆原子力は、脱炭素に貢献？

2月2日、EUは、持続可能な経済活動のグリーンリスト（タクソノミー）に原子力と天然ガスを含めると公表。今後欧州議会や理事会で審議が行われます。果たして、原発は環境の観点から持続可能な投資先なのか？これに対し、日本の5人の首相経験者が東京電力福島原発事故を踏まえて、環境に与え続ける深刻な放射能汚染や子ども達の甲状腺癌の発生を指摘し、EUタクソノミーの見直しを求める声明を发出。一方環境大臣は、子ども達の甲状腺癌と原発事故の因果関係は証明されていないとする反論を行っています。

苦しい治療を余儀なくされている若者6人が東電を提訴しているのにも関わらずです。



出典:福島の子どものための保養等活動 15団体「いのち・神奈川」が環境省から得た回答資料から阿部知子事務所作成(資料元:福島県がん登録、全国がん登録—都道府県別)

◆子どもの育ちを守ることに

オミクロン株の急拡大で学校休校が増える中、オンライン授業のニーズも高まっています。文科省によれば、全国の地方公共団体に配置されているICT支援員数は、3,538名（令和2年度末付）で、50校以上ある藤沢市でも、約20名と著しく不足しています。子ども達の学びを保障する為にも充実は不可欠です。

又感染症拡大に対して、5歳以上、12歳未満の子どもへのワクチン接種を努力義務とする動きもありますが、ワクチンは基本的に個人を守るもの、重症化しにくい子ども達には、義務化すべきではなく、基礎疾患がある等、希望者が受けられることが基本です。加えて、マスクも2歳以上の保育園児で積極的にと言いますが、しっかりと観察して子どもが苦しい時は、はずせる保育環境が必要です。十分な観察無くしては、事故につながりかねません。

◆建築物省エネ法の成立を！

2030年迄の温度上昇を1.5℃以内に抑えることは、昨年10月のCOP26のグラスゴー合意です。日本も脱石炭火力、省エネ、再エネ推進に全力で取り組みねばなりません、いずれも足踏み状態。

とりわけ省エネ分野では、「第5次エネルギー基本計画」で、実は2020年迄に新築住宅・建築物について段階的に省エネルギー基準への適応を義務化するとされていたものが先送りにされたまま、「第6次エネルギー基本計画」で改めて2025年迄にとされたものです。住宅が省エネ基準を満たすことは、健康にも住宅の資産価値からもとても重要なことです。

日本にも多いお風呂の死亡事故の防止にもつながります。文字通り、健康にも環境にも経済にも三方良し。この国会では是非とも審議、成立させたいと思います。「原発ゼロ・再エネ100の会」でも、取り上げたところからです。

### 衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）  
当選8回、東京大学医学部卒業、  
小児科医、あべともこ子どもクリニック（湘南台）理事長  
現在、厚生労働委員会・沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長、  
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ  
公式Twitter  
@abe\_tomoko

[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



あべともこ事務所  
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

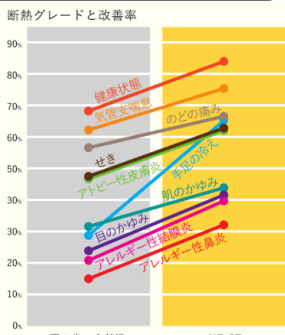
あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、  
ボランティアスタッフ募集中！

住宅断熱により  
様々な病気を  
予防・改善する。

新しい住まいで  
出なくなった人  
改善率 =  $\frac{\text{前の住まいで出ていた人}}{\text{前の住まいで出た人}}$



出典：健康維持がもたらす間接的便益（NEB）を考慮した住宅断熱の投資評価 日本建築学会環境系論文集、Vol.76, No.666, 2011.8（東北義塾大学伊賀貴教授他）

出典:鳥取県HPより  
(<https://www.pref.tottori.lg.jp/293782.htm>)